

子ども病棟主催の「小児BLS」研修会も今年で4回目を迎えました。

この冬はRSやインフルエンザの流行しており、小さなお子さんが感染すると重症化する可能性があるため、観察力と迅速な対応力が必要となります。

北播地域で小児の中核病院である本院のスタッフとして、今回の研修は急変対応を振り返るよい機会になりました。昨年に続き、管理当直をする課長や副課長も多数研修に参加し、「赤ちゃんの心臓マッサージって、難しいー！」と、あちらこちらで、何度も練習する場面が見られました。

いざ！という時、速やかで安全な急変対応ができるよう、ひとりでも多くのスタッフのスキルアップを目指していきたいと思えます。

